

Nikon

ベローズアタッチメント用 スライド複写装置PS-4



— 使用説明書 —

—ベローズアタッチメント用— スライド複写装置PS-4

このスライド複写装置PS-4は、ベローズアタッチメントPB-4と組み合わせて、確実にしかも簡単にスライド複写をするためのものです。(写真1) PB-4からスライディングサポートやあおり機構をはずしたPB-5(写真2)とも組み合わせられるように、取付け寸法を同じくしてあります。

目 次

- | | |
|----------------|---|
| 1. 特 長 | 2 |
| 2. 仕 様 | 2 |
| 3. 各部の名称 | 3 |
| 4. 使用法 | 4 |
| a. 装置のセットおよび操作 | 4 |
| b. 使用フィルムの選択 | 6 |
| c. レンズの選択 | 6 |
| d. 光 源 | 8 |
| e. 露出の決め方 | 8 |

1. 特 長

- 市販のあらゆる種類（35mm用）のスライドマウントおよびロールフィルムのコピーができます。
- 上下および左右のトリミングが一つのつまみで簡単にできます。
- 遮光用蛇腹はマグネットを利用しているため、収納が楽で引き出す時も簡単にできます。
- ロールフィルム用の受皿が両脇に付いています。

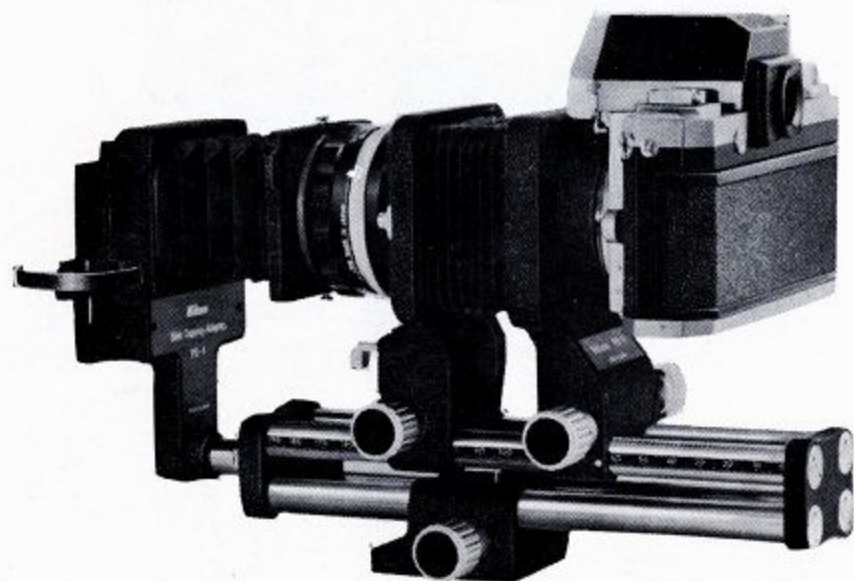


写真1

2. 仕 様

- 複写されるフィルム……
35mm スライドマウント（厚さ4mm以下）
35mm ロールフィルム
- 使用レンズ……24mm F2.8～85mm F1.8
トリミング量……上下方向 各6mm
左右方向 各9mm
- 撮影倍率……50mm F2標準レンズを使用した時
レンズ正方向で 1/1.2×～2.4×
レンズ逆方向で 1.6×～4.4×
- 遮光用蛇腹伸縮量……60mm
大きさ……188mm 幅×132mm 高さ×162mm 長さ
重 量……500g

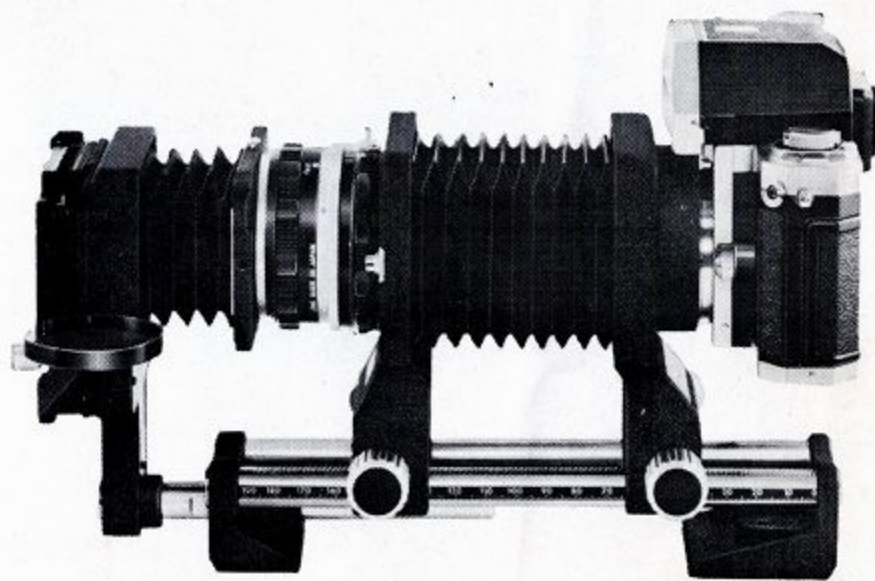


写真2

3. 各部の名称

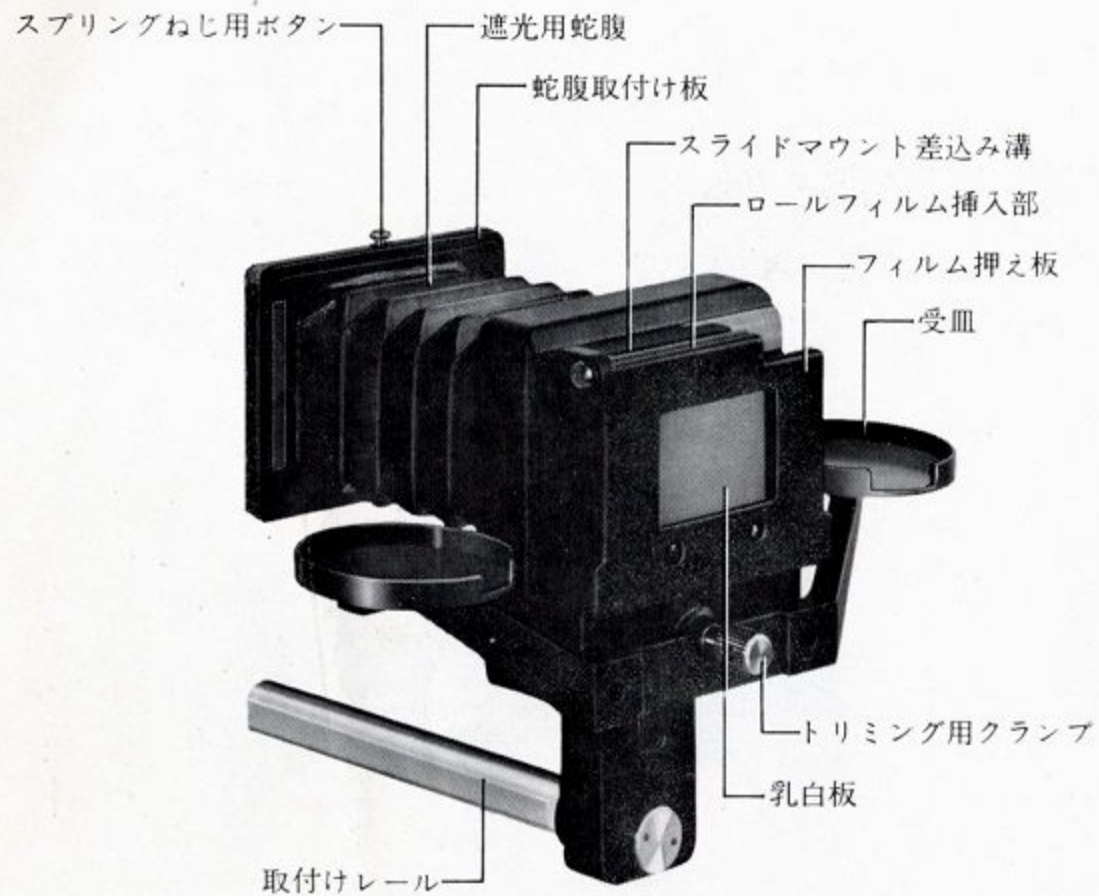


写真3

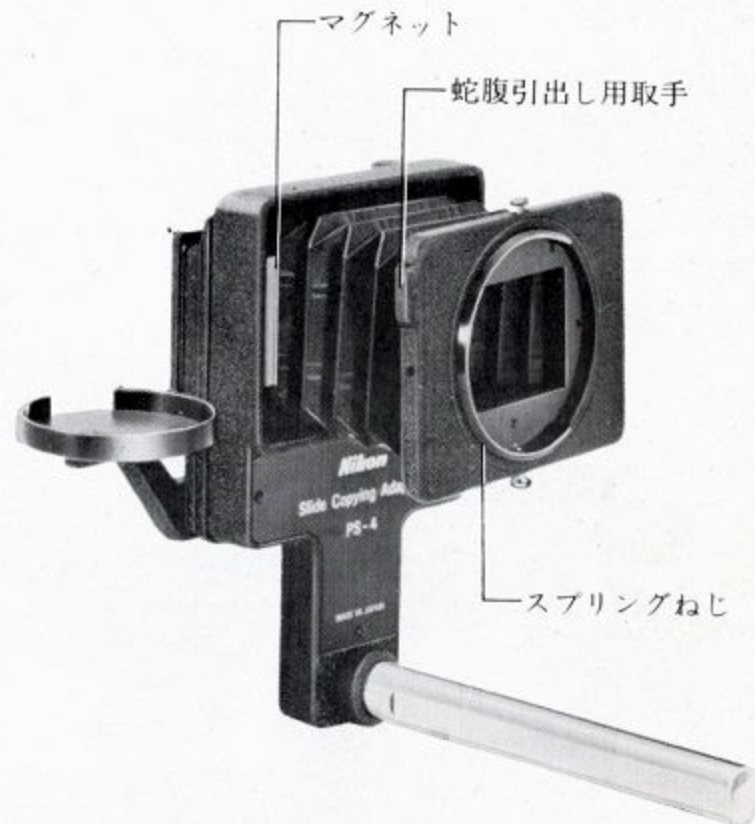


写真4

4. 使用法

a. 装置のセットおよび操作

- ペローズアタッチメントPB-4またはPB-5に取り付けるには、スライド複写装置の取付けレールをペローズ前端にある取付け穴に差し込みクランプします。
- 蛇腹引出し用取手の方を指でつかんで、反対側を支点として手前に引くと簡単にマグネットからはずれます。(写真5) 引き出した蛇腹はレンズ先端のアタッチメントねじにキャップをかぶせる要領で取り付けます。
- スライドマウントは、そのまま上から差込み溝に入れます。
ロールフィルムはフィルム押え板を開いて案内溝の中へ入れてから押え板を閉めます。フィルムの両端は両脇にある受皿に巻いて乗せます。(写真6) この際、フィルム乳剤面(斜めから見てつやが少ない)を乳白板側に向けます。
- トリミングしてコピーしたいときは、トリミング用クランプをゆるめて、これを上下または左右に移動しま

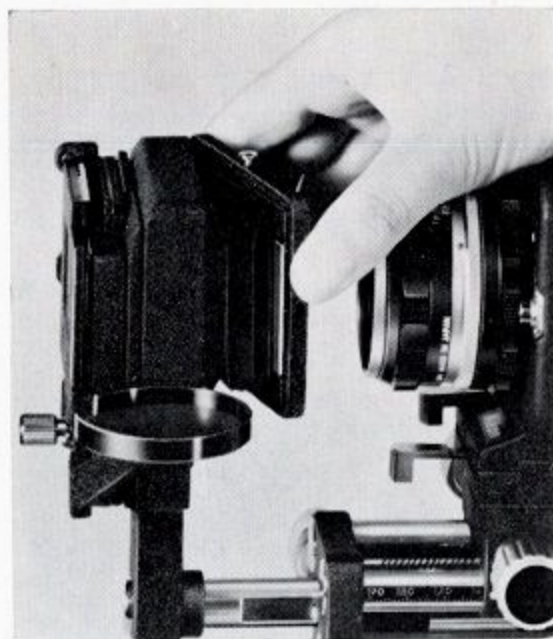


写真5

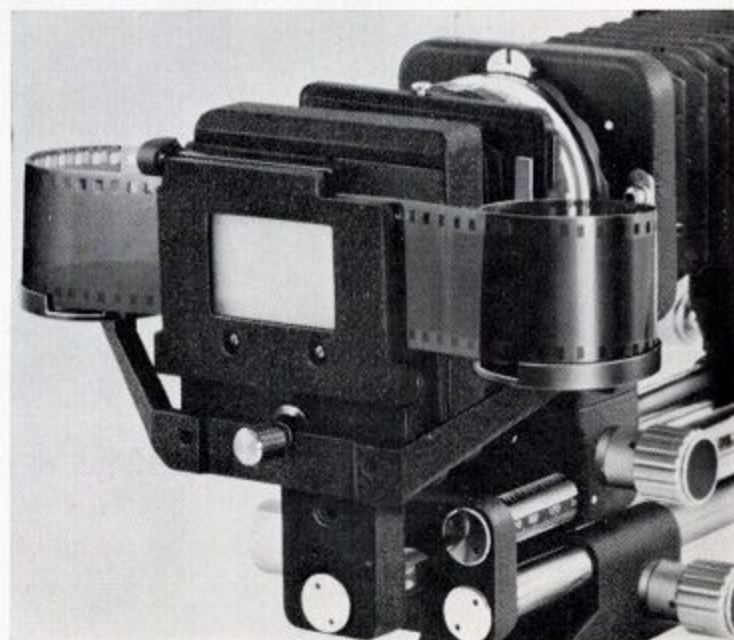


写真6

す。位置が決ったらクランプを右にまわして締めま
す。(写真7)トリミングしないときはトリミング用可
動部分をクリックのある中央位置にセットします。写
真9は写真8をトリミングして撮影倍率2倍でコピー
したものです。

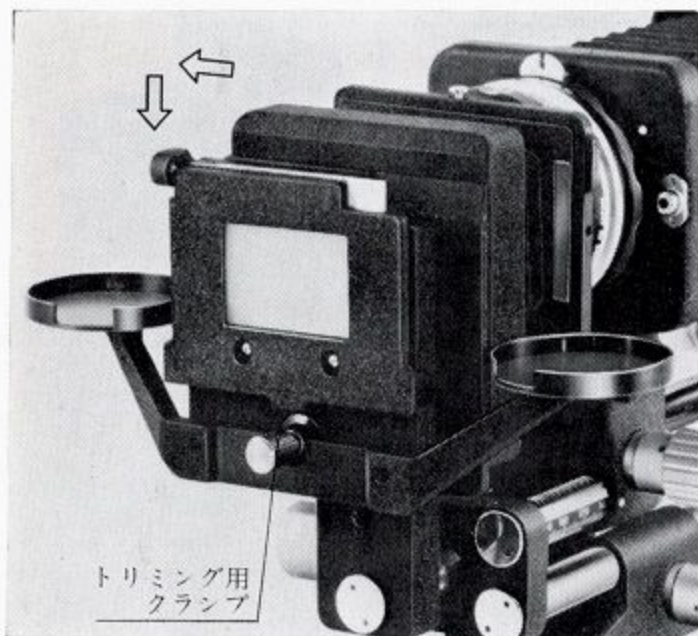


写真7

トリミング用
クランプ

矢印方向にトリミングした状態

写真8



2x

写真9



b. 使用フィルムの選択

黑白やカラーのネガから黑白のスライドフィルムを作ったり、印画を作るための中間ネガを作ったり、あるいは同じスライドフィルムの複製を作りたい場合があります。この場合には表1によって使用フィルムを選択します。

c. レンズの選択

使用できるニッコールレンズとその撮影倍率範囲は表2に示してあります。これらの中でマイクロニッコールオートが性能上最良であり、ついでGNオートニッコールや50mm F2レンズが好適です。

等倍以上の撮影ではレンズを逆向きにした方がよく、この場合にはBR2リングおよびBR3リングを併用します。

(写真10)

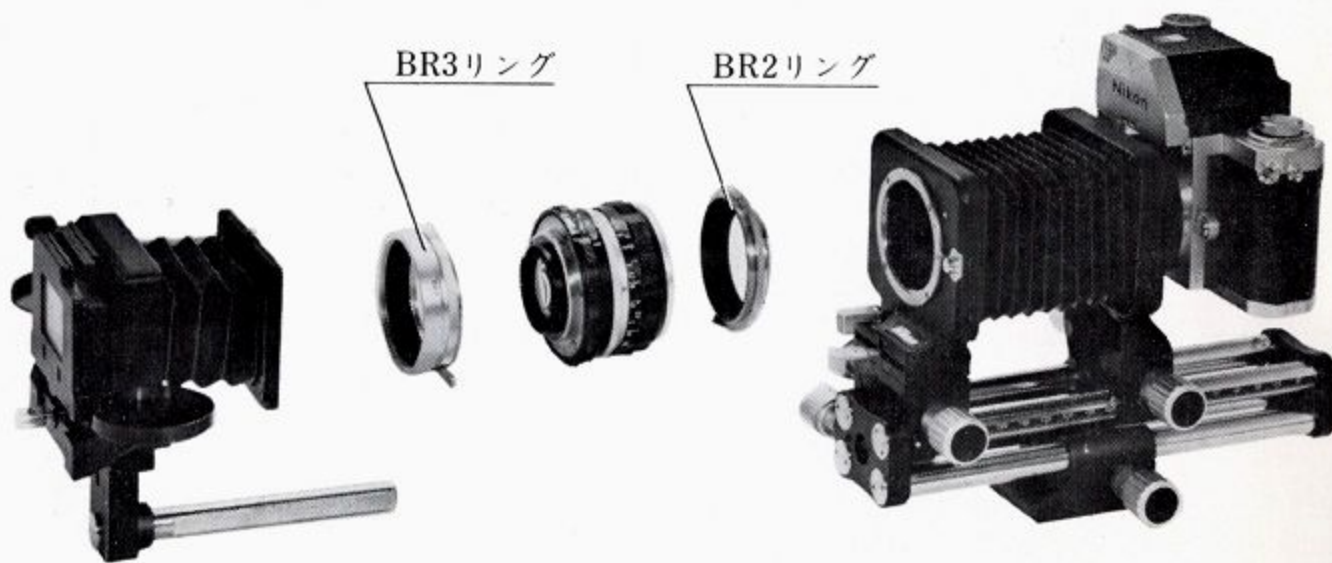


写真10

オリジナルフィルム		目的・用途	使用フィルム
黑白ネガ	普通の調子	黑白スライド映写用	マイクロフィルム ポジフィルム
	強コントラスト	＃	一般用ネガフィルム
黑白スライド		＃	黑白反転フィルム
		印画用ネガ	一般用ネガフィルム
カラーネガ		黑白スライド映写用	一般用パナクロネガフィルム
カラースライド		カラーズライド映写用 カラーネガ(カラー印画用) 黑白スライド映写用 黑白印画用ネガ	カラー反転フィルム カラーネガフィルム 黑白反転フィルム 一般用パナクロネガフィルム

表1

表2. スライド複写装置 PS-4 による撮影倍率

レ ン ズ			撮 影 倍 率											
種 類	姿 勢	10倍	9倍	8倍	7倍	6倍	5倍	4倍	3倍	2倍	1倍	1/2倍		
		広角	ニッコールオート 24mm F2.8		—————									
レ ン ズ	ニッコールオート 28mm F3.5			—————										
	ニッコールオート 35mm F2				—————									
	ニッコールオート 35mm F2.8				—————									
	PCニッコール 35mm F2.8				—————									
	標準	GNオートニッコール 45mm F2.8							—————	—————				
レ ン ズ	ニッコールオート 50mm F1.4							—————	—————		-----△			
	ニッコールオート 50mm F2							—————	—————	—————				
	ニッコールオート 55mm F1.2							—————	—————	—————	-----△			
	マイクロニッコールオート 55mm F3.5							—————	—————	—————				
	望遠	ニッコールオート 85mm F1.8								—————	—————			

注 1. レンズ逆向きの倍率範囲はBR3リングを併用したときのものです。(ただし24mm F2.8レンズを除く。)

2. △印のある倍率範囲は撮影することはできますが性能上おすすめできません。

d. 光源

太陽光や青空光（特に北向き窓の光）などの自然光や蛍光灯・リフレクターランプ（写真電球）・スピードライトなどの人工光を用いることができますが、一般には光度と光質の一定した人工光のほうが良好です。カラーフィルムによる撮影の場合は表3のように光源の光質が撮影フィルムに合ったものを使用するか、色温度変換フィルターを併用して補正する必要があります。

リフレクターランプのように熱を出すものでは被写体（複写されるフィルム）を過熱しないようにランプを適当に離します。

使用フィルム	光源	フィルター
デーライト用 カラーフィルム	リフレクターランプ	B 12
	沃(よう)素ランプ	"
	ブルーリフレクターランプ	不要
	スピードライト	"
タングステン用 カラーフィルム	リフレクターランプ	不要
	沃(よう)素ランプ	"
黑白フィルム	フラッドランプ	不要
	スピードライト	"
	自然光	"
	蛍光灯	"
	沃(よう)素ランプ	"

表3

e. 露出の決め方

- フォトミックFTNやTN、ニコマートFTNなどのようなTTL方式の露出計では、撮影倍率が変わっても、またフィルターを併用した場合でも、その測定値がほぼそのまま適正露出になります（カメラの使用説明書参照）が、複写されるフィルムの調子などによっては露出を多少調節する必要があります。スピードライトのように露出の測定ができないものでは、あらかじめテストで適正露出を求めておく必要があります。
- 一般の単独露出計による場合は、スライド複写装置の乳白板の位置で入射光測光をするか、または標準反射板で反射光測光をし、撮影倍率に応じて露出倍数をかけます。この方法による露出は、複写されるフィルムの濃淡、調子などを考慮して多少調整することが必要です。



日本光学工業株式会社

本社	・103	東京都中央区日本橋通1-7 (日本橋西川ビル)	電話 (東京 03) 272/3311 (大代表)
大井製作所	・140	東京都品川区西大井1-6-3	電話 (東京 03) 773/1111 (大代表)
サービス課	・143	東京都大田区大森北6-19-22	電話 (東京 03) 764/2601-6
〈営業所〉			
大阪	・542	大阪市南区安堂寺橋通2-26 (大阪写真会館)	電話 (大阪 06) 262/3271 (代表)
名古屋	・450	名古屋市中村区広井町3-88 (名古屋ビル)	電話 (名古屋 052) 563/2881 (代表)
広島	・730	広島市大手町2-11-2 (農林ビル)	電話 (広島 0822) 48/1216・1217
福岡	・810	福岡市天神2-12-1 (天神ビル)	電話 (福岡 092) 78/5636・5637
仙台	・980	仙台市中央3-2-1 (仙台清水ビル)	電話 (仙台 0222) 27/1237 (代表)
札幌	・060	札幌市大通西1-13 (大通ビル)	電話 (札幌 011) 231/7896 (代表)
〈サービスセンター〉			
東京	・100	東京都千代田区丸の内1-5-1 (新丸ビル)	電話 (東京 03) 216/2080・5000